

令和元年度（2019年度） 事業計画

運営主体：社会福祉法人大阪府社会福祉事業団
施設名：豊中市立養護老人ホーム永寿園とよなか

1. 運営方針

利用者の「自立支援」の取組みとして二つの取組みを行って参ります。一つめは利用者個々の能力に応じ、利用者が自ら販売員として販売を行う取組みを行っていきます。まずは施設内から販売をスタートし、目標として地域へ広げて参ります。

二つめとして、地域の小学生の見守り活動や施設内外の清掃活動等を通じて、自己の地域・社会への貢献を実現し、自立した生活ができるよう取り組んで参ります。また、地域に向けて診療所機能の提供を始めとする「医療」「介護」「栄養」「保育」等の専門職の知識やマンパワーを提供し、地域福祉の向上に貢献していきます。

ステップアップ事業

入居者が残存機能を活かせる福祉機器の導入

少しでも長い期間残存機能を活かし、利用者自身の望む生活が継続出来る様に、補助的な役割を担う介護ロボットやA I 搭載の福祉機器の発掘・導入を検討していきます。

達成目標

昨年度に引き続き、福祉機器を検討し、年度前半にはある程度の機器の選定を行ったうえで、次年度導入に向けての予算組みを行うため、今年度中に試行できるよう進めて参ります。

2. 重点項目

未来を見据えた新たな養護老人ホーム運営の取組み

- ①豊中市の指定管理事業者としての役割を自覚し、困難ケースや重度高齢者の受入れを行うことができるよう、職員一人一人の知識・技術のレベ

ルアップを図ります。また、措置市担当者とのコミュニケーションを密に図り、安心して措置依頼していただけるよう努めます。

- ②他市町村については、余力を活用し、緊急要援護高齢者の受入可能な措置市を増やすことで利用の裾野を広げ、本入居に繋がるよう努めて参ります。受入困難な場合は、法人傘下の施設を始め、他施設へ橋渡しする等、利用者の行先が滞ることのないよう支援して参ります。

利用者の自立支援の推進

- ①利用者が施設内で物品の販売ができるようなお店を開店させ、利用者自ら運営ができる体勢作りを行います。また労働に対する報酬を還元することによるモチベーションのアップや更なるチャレンジに繋げて参ります。
- ②これらの活動を行なうことで身体機能の維持、体力の向上、精神の安定と生きる活力を養うことで、充実した生活が送れるよう支援します。

業務の効率化を図るための機器の活用

- ①入居者の重度化や多様なニーズの中、ブルーオーシャンシステムの活用による業務の省略化を検討し、実践していきます。また、タブレットやスマートフォン等の使用による記録の効率化を検討するとともに、法人内他施設で実施されているインカムの導入を検討して参ります。
- ②ステップアップ委員会との連携を図り、利用者自らが活用し生活に活かせる福祉機器を使い、安心、安全、さらには張りのある生活が営めるよう支援いたします。

保育園児自ら睡眠できる力の習得

乳幼児期の発達段階において、保護者や保育者が入眠を促さなければならぬ睡眠について、適切な時間や環境下において自らの力で睡眠ができるよう取り組んで参ります。自立睡眠ができることで自立心も芽生え、より良い発達に繋げて参ります。

3. 地域公益事業

一人暮らし高齢者への支援や協力

地元福祉関係機関と協力し、一人暮らし高齢者への昼食の提供について施設の能力や設備を提供します。また、その際に常勤医師による健康相談や専門職員による介護相談等を実施し、住み慣れた地域で安心して暮らし続けていけるよう支援して参ります。

リスクマネジメント機能の強化

地震や台風、火災等の災害によって生活に影響を受けた地域の方々に対して、備蓄食糧の提供はもとより、入浴設備の使用など施設が所有する設備等の提供を行う等、万が一災害が発生した場合でも地域住民への支援を積極的に進めて参ります。

ボランティア等の組織化と支援活動

『地域を支える』を根幹に認知症の方及びその家族を支える取組みを認知症サポーター組織の方々と協力し、人が集える場の提供を行います。その一つの取組みとして、サポーターのやりがいや養成講座後の実践の場として認知症カフェの運営を継続し、認知症の方々やその介護者が集える場を提供して参ります。

4. 実施事業一覧

- 豊中市立養護老人ホーム永寿園とよなか（定員 70 名）
- 特別養護老人ホーム永寿園とよなか（定員 29 名）
- 短期入所生活介護（定員 11 名）
- 企業主導型保育えいじゅ・とよなか保育園（定員 12 名）
- 永寿園とよなか診療所

5. 施設管理

建物設備等の管理

昨年度より経年劣化による建物・設備に不具合が生じ始めており、早期発見、対応に努め大規模な修繕に至らないよう改善を図って参ります。また、日常のメンテナンスを意識して行い、故障の要因を取り除きながら少しでも長期間使用ができるようにしていきます。

災害時における備え

大規模災害に備え、平成 30 年度に発生した大阪北部地震を教訓に、災害時に使用できるランタンあるいは懐中電灯及び乾電池を備えておきます。また、地域の方々が被災し避難をしてこられることを想定し、その他の災害備品についても順次整備していきます。

6. 労務管理

労働基準法の改定による年次有給休暇の取得について、該当職員各々が

計画立てて休暇の取得ができるよう各事業所にて取得状況の管理を行い、適切に取得することにより労働者のリフレッシュの機会を確保していきます。また、養護老人ホームの夜勤業務体制について、昨年度までの1名体制を2名での勤務とし、利用者が夜間も安心して過ごしていただけることはもとより、夜勤担当職員の肉体的・精神的負担の軽減を図れるよう体制を整えていきます。

資金収支予

永寿園養護拠点区分 1-1

勘定科目		拠点合計			
			養護老人ホーム	養護老人ホーム (特定)	養護老人ホーム 短期入所
事業活動による収支	収入				
	介護保険事業収入	67,715,000	0	67,715,000	0
	居宅介護料収入	67,715,000	0	67,715,000	0
	(介護報酬収入)	63,013,000	0	63,013,000	0
	介護報酬収入	59,900,000	0	59,900,000	0
	介護予防報酬収入	3,113,000	0	3,113,000	0
	(利用者負担金収入)	4,702,000	0	4,702,000	0
	介護負担金収入(一般)	4,656,000	0	4,656,000	0
	介護予防負担金収入(一般)	46,000	0	46,000	0
	老人福祉事業収入	144,543,000	143,333,000	0	1,210,000
	措置事業収入	144,543,000	143,333,000	0	1,210,000
	事務費収入	92,844,000	92,844,000	0	0
	事業費収入	49,734,000	49,734,000	0	0
	その他の利用料収入	720,000	720,000	0	0
	補助金事業収入	35,000	35,000	0	0
	その他の事業収入	1,210,000	0	0	1,210,000
	その他の収入	414,000	414,000	0	0
	利用者等外給食費収入	125,000	125,000	0	0
	雑収入	289,000	289,000	0	0
	事業活動収入計(1)	212,672,000	143,747,000	67,715,000	1,210,000
	支出				
	人件費支出	128,313,000	86,674,000	41,639,000	0
	職員給料支出	37,236,000	21,357,000	15,879,000	0
	職員賞与支出	10,608,000	6,188,000	4,420,000	0
	非常勤職員給与支出	64,909,000	49,144,000	15,765,000	0
	退職給付支出	1,075,000	541,000	534,000	0
	法定福利費支出	14,485,000	9,444,000	5,041,000	0
	事業費支出	39,719,000	24,493,000	14,914,000	312,000
	給食費支出	20,643,000	11,493,000	8,865,000	285,000
	介護用品費支出	3,000	0	0	3,000
	保健衛生費支出	500,000	363,000	137,000	0
	教養娯楽費支出	1,026,000	675,000	351,000	0
	日用品費支出	127,000	127,000	0	0
	本人支給金支出	3,500,000	3,500,000	0	0
	水道光熱費支出	9,804,000	5,606,000	4,198,000	0
	燃料費支出	6,000	0	0	6,000
	消耗器具備品費支出	1,149,000	758,000	391,000	0
	保険料支出	189,000	109,000	75,000	5,000
	賃借料支出	2,489,000	1,675,000	801,000	13,000
	車輛費支出	283,000	187,000	96,000	0
	事務費支出	9,885,000	6,544,000	3,341,000	0
	福利厚生費支出	493,000	323,000	170,000	0
	職員被服費支出	4,000	4,000	0	0
	旅費交通費支出	44,000	40,000	4,000	0
	事務消耗品費支出	1,257,000	1,073,000	184,000	0
	印刷製本費支出	29,000	20,000	9,000	0
	水道光熱費支出	693,000	396,000	297,000	0
	燃料費支出	10,000	9,000	1,000	0
	修繕費支出	265,000	265,000	0	0
	通信運搬費支出	373,000	287,000	86,000	0
	広報費支出	165,000	107,000	58,000	0
	業務委託費支出	2,694,000	1,541,000	1,153,000	0
	手数料支出	951,000	702,000	249,000	0
	保険料支出	75,000	25,000	50,000	0
	賃借料支出	1,259,000	796,000	463,000	0

(单位: 元)

- 129 -

永寿園養護拠点区分 1-2

勘定科目		拠点合計			
			養護老人ホーム	養護老人ホーム (特定)	養護老人ホーム 短期入所
事業活動による収支	土地・建物賃借料支出	55,000	51,000	4,000	0
	租税公課支出	35,000	35,000	0	0
	保守料支出	1,219,000	622,000	597,000	0
	渉外費支出	103,000	97,000	6,000	0
	諸会費支出	129,000	129,000	0	0
	雑支出	32,000	22,000	10,000	0
	その他の支出	125,000	125,000	0	0
	利用者等外給食費支出	125,000	125,000	0	0
	事業活動支出計(2)	178,042,000	117,836,000	59,894,000	312,000
	事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	34,630,000	25,911,000	7,821,000	898,000
施設整備等による収支	施設整備等収入計(4)	0	0	0	0
	固定資産取得支出	200,000	200,000	0	0
	器具及び備品取得支出	200,000	200,000	0	0
	ファイナンス・リース債務の返済支出	60,000	60,000	0	0
	施設整備等支出計(5)	260,000	260,000	0	0
その他の活動による収支	施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	△260,000	△260,000	0	0
	積立資産取崩収入	51,000	51,000	0	0
	退職給付引当資産取崩収入	51,000	51,000	0	0
	拠点区分間繰入金収入	77,000	44,000	33,000	0
	本部拠点区分間繰入金収入	77,000	44,000	33,000	0
その他の活動による収支	その他の活動収入計(7)	128,000	95,000	33,000	0
	積立資産支出	3,267,000	3,087,000	180,000	0
	退職給付引当資産支出	3,267,000	3,087,000	180,000	0
	拠点区分間繰入金支出	30,000,000	22,500,000	7,500,000	0
	本部拠点区分間繰入金支出	7,500,000	0	7,500,000	0
	本部拠点区分間繰入金支出(前期)	22,500,000	22,500,000	0	0
	その他の活動支出計(8)	33,267,000	25,587,000	7,680,000	0
	その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	△33,139,000	△25,492,000	△7,647,000	0
	予備費支出(10)	0	0	0	0
	当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)	1,231,000	159,000	174,000	898,000
前期末支払資金残高(12)		54,831,000	35,685,000	8,361,000	10,785,000
当期末支払資金残高(11)+(12)		56,062,000	35,844,000	8,535,000	11,683,000

